



外観

施設の概要

所在地：大阪府松原市阿保3-14-22
 延床面積：6,395㎡
 構造・規模：鉄筋コンクリート造・地下1階、地上5階建、塔屋1階
 設計：(株)日吉設計
 施工/建築：大末建設(株)・末広建設(株)JV
 電気：(株)きんてん・尾崎電設工業(株)JV
 竣工：平成12年3月

快適に安心して暮らせる 生活環境づくりを目指した高齢者施設

白熱灯の目にやさしい間接光を採用しバリアフリーに配慮

「大阪老人ホーム」は社会福祉法人「聖徳会」が運営する高齢者健康福祉施設で、100年以上の伝統に培われた介護実績やサービスで、お年寄りの快適で安心した生活環境づくりをバックアップしています。

工事担当者様の声	尾崎電設工業(株) 工事営業部 主任 小林恵一さま
----------	---------------------------------

お年寄りの目を考慮して、間接照明、しかも白熱灯を多く使用した高照度な設計となっています。また廊下や室内においても突起のあるような器具の使用や配置は避け、安全性を確保する施工に努めました。

オーナー様の声	社会福祉法人 聖徳会 理事長 岩田克夫さま
---------	--------------------------

一概に高齢者といっても明治や大正生まれ、昭和生まれの方では好みや考え方も異なっています。例えば和風旅館のおもむきに合う人と、都会のホテルのモダンな感覚が好きだという人、など15～20年のスパンでお年寄りの好みも違ってきています。いわば新しい老人層が出てきており、その層を意識した施設づくりを考えてきました。たたみを使った和風のコーナーや都会のマンション風な建築が折衷となっているのも、その現れの一つです。照明は、白熱灯を多く採用しあたたかみを出すとともに、白内障の方も多いことから間接光、足元灯を多くしました。(談)



ホテルのロビーを思わせるような談話室・娯楽室には23W電球形蛍光灯ネオボールZ・G形電球色6灯用シャンデリアと折り上げ天井の蛍光灯間接照明



食堂はベース照明に蛍光灯建築化照明を使用し、炉裏のあるたたみのコーナーには、60Wミニクリプトンランプ1灯用和風ブラケットを使用している



たたみ敷きのゲストルームは折り上げ天井の一部を開放して電球色蛍光灯ランプを埋め込んであたたかみのある照明を演出



各居室には高齢者の目にまぶしくないようグレア防止のルーバー付40W蛍光灯ランプ2灯用ホスピタルソフト埋込形器具(病院・福祉施設照明器具)が配置されている



エレベーターホールは蛍光灯の建築化照明をベースに、27Wユークライン蛍光灯ダウンライトや廊下には白熱灯、ブラケット、足元灯を使用し、高齢者にやさしい照明演出となっている